

総合政策部 交通政策課

1 地方バス路線関係

(1) 生活バス路線を維持するため、生活路線維持費補助金の支出を行った。

ア ノノ丸自動車株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	8	35,134,383
		県補助対象路線 (広域路線)	6	13,148,547
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	10	27,674,541
合 計			24	75,957,471

イ 日本交通株式会社

区 分			路線数	補助額 (単位 ; 円)
生活路線 維持費補助金	運行費 補助金	国県補助対象路線 (広域幹線路線)	1	0
		県補助対象路線 (広域路線)	9	38,676,374
		単市補助対象路線 (市内完結路線)	10	18,534,067
合 計			20	57,210,441

(2) 米子市循環バス (愛称「だんだんバス」) 運行

路線バス活性化策の一助として、米子駅を発着し、大学病院など市内中心部を循環するコミュニティバスの運行を行った。

ア ルート 市内中心部 (米子駅→大学病院→ホープタウン前→天満屋前→ふれあいの里→高島屋前→米子駅) での一方向周りの循環運行

イ 運行回数 平日21便、土・日・祝日19便 (始発8時～終発18時。30分間隔)

ウ 使用車両 ノンステップバス (34人乗り) 2台

エ 停留所 32か所 (市が設置)

オ 料金 中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料

定期券 中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円

障がい者等1か月1,500円

回数券 150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円

50円券11枚綴り500円

カ 料金割引 鳥取県内の路線バス定期券 (日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分) を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引

キ 運行方法 市とバス事業者が協定を結び、運行するバス事業者に対し、運行経費から運賃収入を控除した額 (15,696,908円) を市が補填した。

ク 利用者数 年間乗車人員128,914人

一日平均353人、一便平均17.4人 (幼児を含む。)

(3) 米子市淀江町巡回バス (愛称「どんぐりコロコロ」) 運行

路線バスの廃止代替として、米子市淀江町全域を巡回するコミュニティバスの運行を行った。

ア ルート 便ごとにルートが異なり、淀江駅、白鳳高校、マリ医院、米子東病院、

	イオンモール日吉津等を巡回（1便当たりの所要時間 17分～59分）
イ 運行回数	平日・土曜10便、日曜・祝日運休（始発7時50分～終発16時00分）
ウ 使用車両	マイクロバス（29人乗り）1台、マイクロバス（23人乗り）1台
エ 停留所	53か所（市が設置）
オ 料金	中学生以上1人1回150円、小学生100円、障がい者等50円、幼児無料
カ 定期券	中学生以上1か月4,500円 小学生1か月3,000円 障がい者等1か月1,500円
回数券	150円券11枚綴り1,500円 100円券11枚綴り1,000円 50円券11枚綴り500円
キ 料金割引	鳥取県内の路線バス定期券（日ノ丸自動車株式会社・日本交通株式会社発行分）を提示された方を対象に中学生以上1回50円割引
ク 運行方法	市が市町村運営有償運送にて、タクシー事業者に運行を委託し、運行経費（11,200,000円）を委託料として支払った。
ケ 利用者数	年間乗車人員7,108人 一日平均24.2人、一便平均2.4人（幼児を含む。）

(4) 米子市地域公共交通会議の開催

本市における生活交通に関連する事項について、道路運送法の規定に基づく米子市地域公共交通会議において検討した。

ア 構成	学識経験者1名、事業者の組織する団体1名、バス事業者2名、住民又は利用者の代表4名、運転手を組織する団体1名、中国運輸局1名、警察1名、県職員1名、市職員2名 計14名
イ 開催日	令和元年8月29日、令和2年1月10日

2 鉄道関係

- (1) 中国横断新幹線の整備を推進するため、令和元年5月22日に「中国横断新幹線（伯備新幹線）整備推進会議」を設立し、広報・要望活動を行った。
 - ア 設立総会 令和元年5月22日（松江市）
 - イ 伯備新幹線の早期実現を求める総決起大会 令和元年10月20日（安来市）
- (2) 山陰を縦貫し北陸及び近畿を結ぶ超高速鉄道の建設着手推進を目的とする「山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議」を通じて要望活動を行った。
- (3) 山陰本線、福知山線の複線電化等について「山陰本線・福知山線複線電化促進期成同盟会」を通じて要望活動を行った。
- (4) JR利用に関わる諸問題について、JR西日本米子支社との調整を行った。
- (5) JR淀江駅前公衆便所の維持管理を行った。

3 航空路線関係

- (1) 空港利用者の利便性向上のため、鳥取県、境港市と共同で米子空港駐車場を運営し、駐車場無料化を継続するとともに、JR境線米子空港駅待合所の維持管理を行った。
- (2) 令和元年度の米子空港利用者数は、令和元年末から拡大している新型コロナウイルス感染症の影響により、国内線が57.7万人、国際線が6.2万人、合計63.9万人であった。

(3) ANAの米子ー東京便については、平成31年4月1日から令和元年5月31日及び令和元年10月1日から令和2年3月8日の間は、1日6往復12便で運航した。また、令和元年6月1日から9月30日及び令和2年3月9日から3月31日の間は、1日5往復10便で運航した。

(4) 米子空港の利用促進活動について、「米子空港利用促進懇話会」を通じ、各種利用促進活動、PR活動を行った。

ア 旅行会社と連携した各種旅行商品の造成及びPR

鳥取県や、中海・宍道湖・大山圏域市長会等と連携し、東京便旅行商品造成及び閑散期対策を実施した。

イ 新聞雑誌等によるPR

新聞、雑誌、ラジオ、テレビ番組等により路線や旅行商品についてPRを行った。

4 通信関係

通信業務の円滑な事業推進を図るため、関係諸団体との調整を行った。

5 交通バリアフリー推進協議会関係

「米子市交通バリアフリー基本構想」（平成21年2月策定）で定めた各種事業の推進状況を評価、検討を目的とした「米子市交通バリアフリー推進協議会」を2回開催した。

開催日：令和元年11月5日、令和2年2月12日